

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 595 号	氏名	Hesham Abumis
学位審査委員	主 査	尾崎 誠	
	副 査	弦本敏行	
	副 査	工藤 崇	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、大腿骨頭壊死における骨髄浮腫と軟骨下骨折および骨頭圧壊との関連を明らかにしようとしたもので、研究目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 MRI で骨頭壊死が発見された 38 症例（57 骨頭）を対象とし、MRI 所見に基づき骨髄浮腫有りと無しの 2 グループに分け、骨頭壊死の範囲、骨頭圧壊、骨頭の軟骨下骨折の有無、臨床経過を比較し検討したもので、研究手法は妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、骨髄浮腫有りのグループで軟骨下骨折や手術が行われた頻度が高く、予後不良因子である骨頭壊死の範囲は両グループで有意差はなかった。以上の結果は、大腿骨頭壊死に伴う骨髄浮腫が骨頭の軟骨下骨折および骨頭圧壊と密接に関連していることを示唆しているとともに、大腿骨頭壊死において骨髄浮腫が予後推測に有用な所見であることを裏付けるものであり、今後の進展が大いに期待できる。 以上のように本論文は大腿骨頭壊死の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			